

城東工科高等学校 創立90周年事業について

母校は、昭和4年に大阪府立第四職工学校として誕生して以来、来る2019年には、創立90周年を迎えます。すでに卒業生は28,000余名にのぼり、各界において活躍され、城工の名を益々あげていただいておりますことは誠に同慶の至りでございます。

このほど、創立90周年を契機に、城工のさらなる発展を支援するとともに城友会会員の皆さま、学校関係者の皆さまの更なる交流のため、城友会と学校及びPTAが協力して下記のとおり城工創立90周年記念事業を実施することといたしました。

1. 城工創立90周年記念事業計画

- (1) 記念祝賀会の開催
- (2) クラブ活動の援助
- (3) 記念式典の開催
- (4) 記念誌の発行

2019年12月15日(日)

・記念式典 (10:00 開始) 予定

「東大阪市文化創造館」 住所 東大阪市御厨南二丁目551番1

・記念祝賀会 (13:30 受付 14:00 開始)

「太閤園」ダイヤモンドホール 住所 大阪市都島区網島町9-10

※記念式典、記念祝賀会の詳細につきましては、次回城友会報(2019年10月頃の発行予定)にてお知らせいたします。

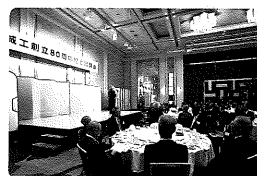
2. 城工創立90周年記念事業募金

- (1) 募金目標額 1,000万円
- (2) 募 金 1口 5,000円(2口以上の協賛も歓迎します)
※ご協力いただいた皆様は同窓会報・協賛者名簿に掲載させていただきます。
- (3) 募集期間 2018年12月~2019年11月
※募金のお振込みは、同封の払込用紙をご利用ください。

つきましては、この趣旨にご理解とご賛同を賜り、募金への協賛をお願いする次第であります。なお、いただいた募金は本事業に使わせていただき、残金については教育活動振興基金に繰り入れさせていただきたいと思っております。何卒、よろしくお願いいたします。

城友会会長 高橋 敏朗

80周年記念行事(2009年)の様子



編集後記

おかげさまで、今回で「城友会報」も35回目の発行をむかえることができました。これもひとえに皆様方のご支援ご協力の賜物にほかなりません。この場をおかりして、つつしんでお礼申し上げます。事務局では、年々常任幹事(卒業生で現在母校に勤務する者)が減少し、一時期は30名を数えた人数が、現在は4名迄減っております。

少ないスタッフではございますが、諸先輩、後輩諸氏の頼もしく心強い応援をいただき、何とか皆様方にこの会報をお届けすることができました。内容につきましては、まだまだご満足いただけない部分も多々あるかと存じます。今後とも皆様のご意見・ご感想をお聞かせいただき、更に内容の充実した会報をお届けできるよう、より一層努力していく所存でございますので、何卒ご容赦くださいます様お願い申し上げます。又、会費納入のお願いを含め、より一層のご協力を賜ります様、何卒宜しくお願い申し上げます。

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます

昭和20年工業卒 辻本 清治氏
平成30年2月 ご逝去
昭和54年電気科卒 樋上 徹氏
平成30年5月 ご逝去
(株)鶴見製作所 会長
城友会 顧問
昭和20年工業卒 辻本 治男氏
平成30年10月 ご逝去
前校長 川崎 政宏氏
平成30年10月 ご逝去

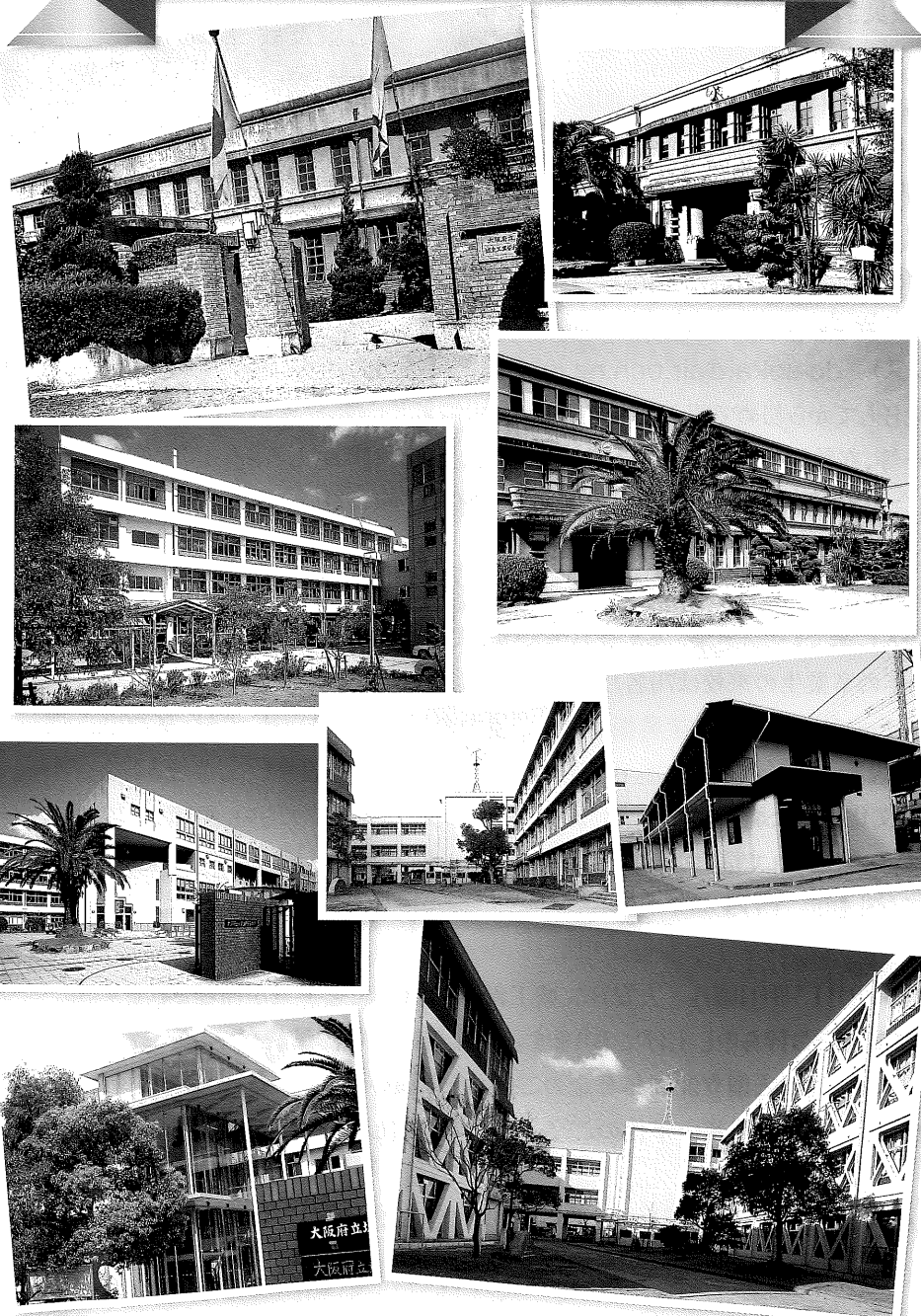
2018.12.20発行

第35回城東工科高校同窓会誌

城友会報



城工は来年創立90周年を迎えます!!



— 発 行 —

〒578-0976

東大阪市西鴻池町2-5-33

大阪府立城東工科高等学校
城友会事務局

TEL.06-6745-0051

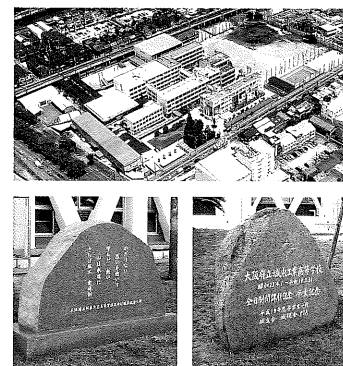
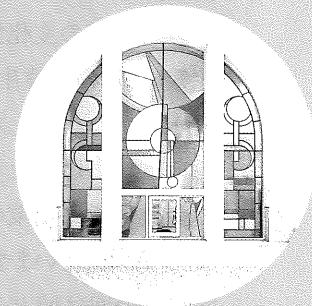
FAX.06-6745-6221

— 企画・制作 —

(株)絆コーポレーション

CONTENTS

ごあいさつ	02-03
城工ニュース	04-05
進路状況	06-07
クラブ活動	08-11
OBメッセージ	12-13
トピックス	14
城友会決算報告・教育活動振興 基金について	15-16
平成29年度城友会年会費納入者 ご芳名録	17
インフォメーション	18-20



今年のお阪は自然災害に見舞われた1年でした。6月18日の朝、大阪北部に震度6弱の地震が発生し、多くの被害が発生したことは記憶に新しいところだす。

また、9月4日に近畿地方を直撃した今世紀最大規模の台風21号は、地元のお阪をはじめ多くの地域で甚大な被害をもたらしました。これも地球温暖化のせいなのでしょうが、今夏は猛暑が続き摂氏40度に近い日もあり本当に暑い日が続きました。来年は是非平穏な一年となることを心より望んでおります。

なお、紙面をお借りして、被災された皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。

さて、城友会では前号でお知らせさせていただいた通り、今年ホームページを立ち上げました。(http://joko-dosokai.p-kit.com)

WEB上での広告掲載も募集しておりますので、是非ご協力をお願い申し上げます。

皆様の情報交換の場としてご活用いただきたく存じますので、同窓会開催に関するご案内やご報告、城友会へのご連絡、近況報告等多数のご投稿をお待ち申し上げます。

また、ホームページに関する皆様のご意見もお待ちしております。

(同窓会宛のメールアドレス) do-sokai@air.ocn.ne.jp

今年はお城友会会長に就任してから初めて朝から体育祭を一日中観覧させていただきました。綱引き、百足競争、クラブ対抗リレー等、在校生の皆さんが精一杯頑張る姿は見応え有りおもしろさ有りで大変感動いたしました。そして、開会式と閉会式での吹奏楽部の演奏が、全体をさらに盛り上げていたのがとても印象的でした。

あと、今年のお文化祭についても少しご紹介させていただきます。城友会では「Coming Day」として、文化祭に多くの卒業生の皆さんに来ていただき楽しんで貰おうと、「知恵の輪」を抽選で60名様にプレゼントさせていただきました。(今年のお卒業生の来校は70名) 来年は先着順にお渡ししたいと思います。

また、「城工メッセ」のコーナーでは、門真市の産業振興課のご協力のもと、地域の会社、大学、卒業生の会社や関係企業の紹介、説明などをしていました。我が母校では生徒が会社を設立して、芋焼き器を製造・販売しています。また、文化祭では焼き芋も売っています。(一度は食べに来てください。美味しいですよ!) 今回は城友会として芋の仕入れで協力させていただきました。(枚方長尾生活協同組合様にご協力いただきました。謹んでお礼を申し上げます。)

最後になりますが、来年の12月15日(日曜日/大安)に、城工創立90周年記念事業が開催されます。ご卒業生の皆様、多数のご参加をお待ち申し上げます。(詳しくは、会報誌最終ページをご覧ください。) 今後とも皆様の絶大なご協力と創立90周年募金のご援助をお願いします。

創立90周年の式典、祝賀会には、是非若い年代のご卒業生にも出席していただけるようお願いいたします。

城工創立90周年記念祝賀会(都島の太閤園)で皆様とお会いできることを楽しみにしております。



城友会 会長
高橋 敏朗

城友会の更なる 発展を願って

卒業生の皆さまには、日ごろから本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。大阪のものづくりを象徴する歴史と伝統のある城工に、この春着任いたしました渡邊健一と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、私は常々次のように思っています。それは卒業生の皆さまが、「私、城工出身です」と胸を張って言ってもらえる学校でありたいということです。

本校の現状をお伝えします。まず、進路状況です。就職は約8割、大学進学は例年20名前後、近畿大学、大阪工業大学などに進学します。専門学校進学も20名前後です。就職ですが、11月20日現在199名が就職テストを受け、176名が合格。1次内定率は88.4%(昨年1次内定率84.9%)です。主な内定企業は、パナソニック、関西電力、新日鉄住友金属、クボタ、小松製作所、阪急電鉄、阪神電鉄、近畿車輛及び地元の優良企業等です。3年生、本当によく頑張ってくれています。

次に、部活動等についてです。自転車競技部が国民体育大会で優勝、卓球部が近畿大会出場、硬式野球部が大阪工業高等学校野球大会で優勝、バレーボール部が大阪府立実業高等学校総合体育大会で優勝。また文科系クラブも頑張っています。総合音楽部が全国高等学校軽音フェスティバルで優秀賞と特別賞(ローランド賞)を受賞、吹奏楽部ですが、今年是全国高等学校野球選手権大会が第100回の記念大会で、各校の吹奏楽部員がオーディションを受け、合格した者が選抜されて開・閉会式において演奏する形を取りました。本校の太鼓担当の部員が見事に合格し、当日素晴らしい演奏を披露してくれました。また部活動ではありませんが、機械系の3年生が全国選抜高校生溶接技術競技会に出場し、全国5位入賞を果たしています。

以上、学校の現状をお伝えしました。これからも卒業生の皆さまが、「私、城工の卒業生です。」と胸を張って誇れる学校になるよう努力してまいりますので、今後とも本校の教育活動へのご理解とお力添えをよろしくお願い申し上げます。

最後に、来年は本校創立90周年を向かえます。卒業生の皆さまにおかれましては、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



校長
渡邊 健一

城友会の皆様には平素より本校の教育にご支援ご協力をいただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。

今年度、西野田工科高校より教頭として赴任してまいりました谷通弘と申します。前任校では、機械系の教諭として7年、教頭として4年の合計11年間勤務しました。

私が城工に赴任してまず感じたのは、生徒たちの挨拶と学校の広さです。校内を歩いていると、多くの生徒たちが立ち止まって大きな声であいさつをしてくれます。ベンチに座って休憩しているのに立ち上がって挨拶をしてくれる生徒もいます。また、校舎と校舎の間には、ゆったりとした木々の植わった中庭があり、生徒たちが昼休みや放課後に友達と語り合ったり、クラブのトレーニングをしています。生徒がゆったり、伸び伸びと高校生活を送れる恵まれた環境の学校だと思います。また、他校にないユニバーサルデザイン棟を使った授業や機械系の鉄の鑄造の実習、城工房やクラブ活動など多くの特徴のある取り組みをしており、これらを活用した城工らしい学校づくりをしたいという思いで大変ワクワクしています。

赴任して半年あまりになりますが、母校を訪問される多くの卒業生の方とお会いしました。その中で特に印象に残っているエピソードを紹介させていただきます。2学期に入っているころに関東在住の約20年前の卒業生の方が元担任の岡本和代先生(書道担当)と一緒に訪問され、校内を案内させていただいたときのことで。一般的な見学コースである機械の実習工場やUD棟を見ていただいたあとに、1年生の書道の授業を見ていただき、書道準備室にもご案内しました。その時、準備室に飾られていた切り絵の作品を見つけて、卒業生の方が文化祭の時にクラスメイトと一緒に作ったものだと言い出され、20年以上も残っていたと喜んでいただきました。案内をしていた私もとても感激しました。長い歴史と伝統があるからこそ、多くの卒業生の物語が学校のあちこちに残っていると思います。母校の近くにお越しの際は、特に体育祭や文化祭などの行事がなくても、ぜひお立ち寄りいただき、在学当時の思い出を探してみてください。お待ちしております。

最後になりますが、これまでの素晴らしい伝統を守りつつ、渡邊校長のもとで城友会の皆様、生徒や保護者の皆様、先生方とともに新しいチャレンジをし、「夢が実現できる学校」づくりに取り組んでまいります。高橋会長様をはじめ城友会の皆様におかれましては、今後とも本校への温かいご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。また、城友会会員の皆様のご健勝、ご多幸とますますのご活躍を衷心より祈り申し上げます。



教頭
谷 通弘